



平成28年 4 月 2 6 日

各 位

会 社 名 東洋埠頭株式会社
代表者名 代表取締役社長 原 匡史
(コード番号 9351 東証第1部)
問合せ先 経理部審査課長 佐古 一彦
(TEL. 03-5560-2702)

特別損失および営業外費用（持分法による投資損失）の計上並びに
平成28年3月期の業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成28年3月期連結決算において下記の特別損失および持分法による投資損失を計上するとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月15日の決算発表時に公表しました通期連結業績予想について、下記の通り修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 減損損失の発生に伴う特別損失の計上

平成28年3月期連結決算において、下記の減損損失を特別損失に計上いたしますのでお知らせいたします。

① 減損損失を計上する資産グループ

場所	用途	種類
大阪府大阪市他	青果物倉庫、普通倉庫、液体化学品貯蔵タンク他	建物及び構築物、機械及び装置他

② 減損損失（特別損失）計上額

455百万円

2. 営業外費用（持分法による投資損失）の計上

平成28年3月決算において、持分法による投資損失214百万円を営業外費用に計上いたします。

3. 平成28年3月期通期連結業績予想の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 34,000	百万円 1,800	百万円 1,800	百万円 900	円銭 11.68
今回修正予想(B)	32,200	1,500	1,300	300	3.89
増減額(B-A)	△1,800	△300	△500	△600	
増減率(%)	△5.3	△16.7	△27.8	△66.7	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	32,288	1,208	794	△172	△2.23

4. 修正の理由

全般的な荷動きの回復の遅れや、輸入青果物の取扱い減少等により売上高、営業利益が見込みを下廻ったことに加え、大阪地区の輸入青果物の取扱事業を運営する子会社の業績が計画を下廻ったことから、同地区での固定資産の減損損失 455 百万円を特別損失に計上いたします。また、持分法適用関連会社である坂出東洋埠頭株式会社においても港湾作業や倉庫貨物の取扱減少に伴う固定資産の減損損失が発生し、当社持分相当額 188 百万円を持分法による投資損失（営業外費用）に計上いたします。これらを踏まえ、平成 28 年 3 月期通期連結業績予想を修正いたします。

なお、個別業績予想については、これらの減損損失や持分法による投資損失の計上がないため、当期純利益や経常利益に大きな変動はない見込みです。

(注) 上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因により、上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上